

海外拠点からPDM管理の図面をダウンロードし自動暗号化

■DataClasys導入事例■

業種	機密区分	顧客のリスクと要望
金属製品製造メーカー	国内秘	海外生産子会社へ製造上必要なCADファイルを提供するにあたり、データ管理が徹底できないため漏洩のリスクがある。既存PDMからファイルをダウンロードする際、自動的かつ強制的に暗号化して提供したい。

対策の骨子	日本国内でのCADファイル管理は、大手CADベンダーのPDMを採用している。海外生産子会社へ製造上必要なCADファイルを提供する際もこのPDMを経由したい。ただし、生のファイルを提供すると海外ではPCやネットワークの管理が徹底していないため、漏洩のリスクが高い。また、国内担当者が海外子会社のためにCADファイルの暗号化処理などの業務をする余裕がない。海外子会社社員に国内の端末にリモートログインさせ、必要なファイルの取り出しをさせるが、必ず自動、強制的に暗号化し、海外からの二次漏洩を防止する。
具体策	海外子会社担当者に国内のCADアプリケーション、PDM操作端末にリモートログインさせる。CADアプリケーション、PDM管理画面を操作して必要ファイルをリモートログインした端末にダウンロードする。ダウンロードフォルダをDataClasysの自動暗号化(ダイレクト暗号化)フォルダに設定し、ダウンロードと同時に自動、強制的に暗号化する。転送システムを介して暗号化されたファイルを海外拠点のPCに送信する。海外拠点では暗号化ファイルをオフラインモードで利用。利用端末は限定。IDファイルは3ヶ月毎に再発行する。
効果	国内の開発部隊の負荷を高めることなく、海外子会社を効率的に活用しながらコアとなる技術を情報漏洩から守ることが可能。

